



Sustainable
Value Plan
2030

生活をとり巻く様々な社会インフラを
ハード、ソフト、マインドの面から支える

生活

社会課題

産業・経済的発展によって都市化が進み、人々の生活がより便利で快適になった反面、ストレスや社会からの疎外などが問題化しています。特に急激な情報化は、新たな楽しみやサービスを生み出す一方で、不安やリスクも増加させました。健全で持続的な社会を実現するためには、誰もが安全・安心に生活できるインフラや環境整備とともに、心の支えや生きがいをもたらすコミュニケーションが重要となります。



富士フィルム
グループが
SVP2030で
目指すもの

(重点課題)

1. 安全、安心な社会づくりへの貢献
2. 心の豊かさ、人々のつながりへの貢献

富士フィルムグループの創業の原点といえる写真には、思い出をカタチに残し、人生を豊かにする力があります。富士フィルムグループは写真フィルムから生まれた技術を生かし、社会にとって重要な情報や文化・歴史の保管・伝承、インフラが整備され、事故や犯罪も少ない安全な社会づくりに寄与していきます。また、改めて写真の持つ“人生を豊かにする力”を見つめ直し、新たな製品・サービスを開発し社会に普及させることで、誰もが人々とのつながりを持ち、心豊かな人生をおくることへ貢献していきます。

2018年度の活動ポイント

OUTPUT

OUTCOME

社会インフラの
維持管理支援に
AIを導入



➡ 安全で持続可能な
まちづくりへの貢献

高性能な遠望監視
カメラの開発



➡ 安全、安心な生活を
サポート

写真を生かした
子育て新習慣の啓発



➡ 写真を通じた子供の
自己肯定感醸成への
貢献

